

HAMANOだより

H29. 12. 22発行

「こどもの世界」

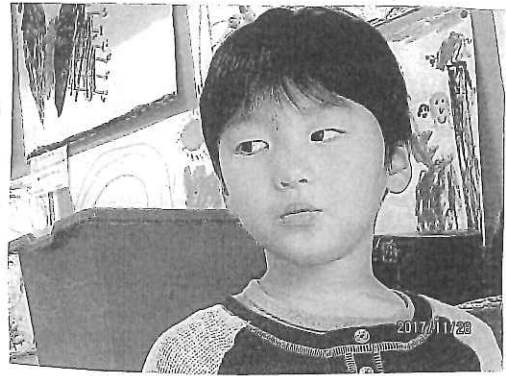
1. おとぎ話のようには 素直なこの世界は 虫の橋を渡っていく こども世界
素直な世界 素直な世界 素直な世界 こどもの世界(※)
2. いじめっこ おニン玉もう 泣き虫に笑い虫 手をつないでかけていこう
こどもの世界(※くり返し)
3. とんずかに辛い時も 一人で泣いたりせずに 肩を頼んでくいたはいて 空を
見上げよう(※くり返し)

童謡「こども世界」の歌詞を改めて表言すると「こどもの世界」そのものが歌詞として成り立っていることを感じます。

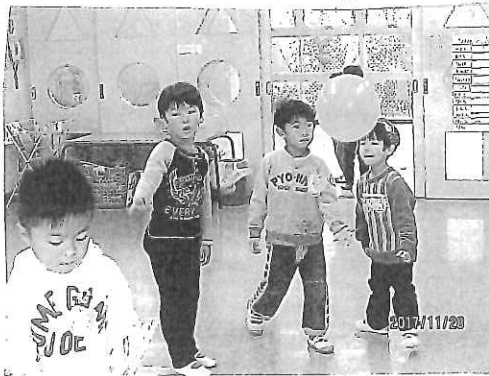
先日年中組の男児2名のトラブルに遭遇しました。険悪ムードがその画像から伝わってきます。



トラブル発生!
意見の食い違い
からこの幼なじみ
状態にナリま
げ。しかし
それを...



暑くて入る幼なじみ
風船が...
しかもイヤらしい
部屋の片隅で
他児たちが
楽しんでいる
姿が!?



お部屋の空気清浄機から出る
風により風船が浮くことを発見して
子どもたちが大盛り上がり姿です↓
(ガッツポーズが出るほどの驚き)そして
その中には先ほどトラブルに悩んでいた
二人の姿もありました。しかし「風船が
浮く」面白さを共有してことで、二人の
気持ちを知り解決に向かいました。

もちろんトラブルの解決がその業に簡単には
いかないこともありますが、大人の世界ではあまり

考えられ
ない
「こどもの世界」
ならではの
出来事
のよさに感じ
ました。



主任
濱野陽子



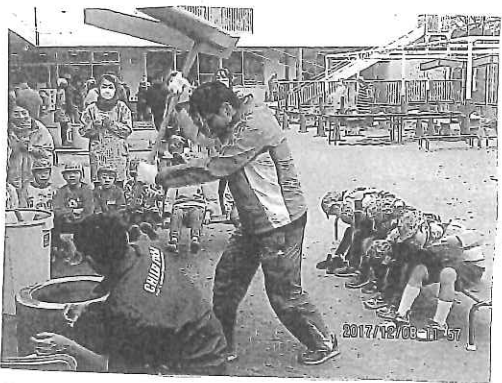
ウラハ

HAMANOだより

発行

No. 2

先日のおもちつきでの一場面。
 右側の男児数名が盾を組み下を向いています。
 何をしているのかというと…「よいしょ」の掛け声に合わせて思わず身体が前のめりになる瞬間です。
 その後起き上がる子、下を向く子等掛け声のリズムを自分たちでとり**身体の動きを楽しんでいる**子どもたちの姿がありました。しかも**夢中**に下り頭を上下させる…(フクかけい？ 大丈夫?!) やまりの姿からも「子どもの世界」を感じて次第です。



朝の預かり保育でY君が「おきい(大きい)」と… Y「おんぼじ〜(同じ)」と影に着目。



前後することで影の長さが変化することに気付
 私自身も自分の影が
 どうしてこんなに大きくぼるのかを**考えている**姿がありました。
何気ない生活の
一コマから子どもの
興味・関心は常に



湧き起っているこの出来事もやみ「子どもの世界」ではふいふいしょうか。

大人には好かほか気付「よいしょ」、大人の視点では考えられないようなことを子どもはたくさん持っています。そのことは上記の事例からや又、先日行われた生活体験日に参加して頂いた保護者の皆様も感じられたことではふいふいと思います。
 (子どもと保護者の方々の振り返りの記録、報告は全て拝見させて頂きました。ご協力ありがとうございます。子どもの持っている可能性を生かすために子どもの姿からの思い、願いを丁寧に観て、聴き実現できる機軸「共に」の姿勢で学年末の学期を迎えたいと思います。

今年年も色々とお世話にふりあかがいづせに。
 よいお年をお迎え下さい！
 そして来年もよろしくお願ひ致します。

主任
 濱野陽子

